

土壌医資格登録者の継続研鑽(CPD)申請受付中 !

— 個別の土づくり小業績など CPD 取得が容易になっています —

今年度いっばいで土壌医資格登録の更新期を迎える方が多くなっています。

資格登録更新に必要な CPD 単位(3年間で30単位)の取得が、昨年10月の「[土壌医資格登録と継続研鑽に関する要綱](#)」の改正により対象メニューが増え申請しやすくなっております。特に個人で行った小業績が単位取得の対象(要綱別表の業績 B. 個別の取組)となっておりますので、是非、年度内早めに申請されるようお願いいたします。

(個別の小業績申請の主なポイント)

1. 個別農家を対象としたものなど小さな業績でも評価されます。

(例: 土壌診断を通じた施肥問題の解析結果や個別農家圃場における土壌診断による生育改善成果等)

2. 小業績の申請とりまとめは A4 版 1~2 枚(写真入り)にまとめたもので申請できます。

3. 小業績は内容により一件当たり 5~30 単位で評価されます。

4. 次年度の優良土づくり推進活動表彰対象においては、土壌医、土づくりマスターや土づくりアドバイザーの資格区別に表彰することが検討されていますが、小業績の申請は、表彰対象審査の際の評価対象となります。

小業績の他にも土づくりの文献解析のレポート(多くの資格登録者が関心を有するテーマや内容のもの)5~10単位、土づくり関係図書(報告文を含む)の読后感想等のレポート(2単位)なども CPD の評価対象になっています。詳しくは「[土壌医資格登録と継続研鑽に関する要綱](#)」(平成30年10月25日改正)をご覧ください。

なお、申請に当たってご不明な点は web サイトの[お問い合わせコーナー](#)からご連絡下さい。

個別の土づくり小業績 (業績① B. 個別の取組)

(内容例)

① 土壌診断(化学性、物理性、生物性)、生育診断による作物生育改善等の成果

(例)・土壌診断又は生育診断の結果、改善点が明確となり、作物の生育や生育環境の改善が見られた取組み事例(土壌診断を通じた施肥問題等の解析結果も含む)、
・作物別の土壌の化学性、物理性等について望ましい診断目安の設定事例(pH、EC、土壌硬度等と個別の作物生育との関係調査事例)

② 現地実証調査による成果

(例)・畑の排水、水田の減水深等の対策の実施により改善が見られた取組み事例、
・肥料や土壌改良資材の効果を評価した取組み事例

③新技術導入による実践成果

(例) ・ 畝内施肥等施肥方式や施肥時期等の改善により作物の収量、品質やコスト低減等が見られた取組み事例、 ・ 灌水回数、灌水量等の改善により作物の収量、品質やコスト低減等が見られた取組み事例

④その他の成果（創意工夫による土づくりに関係する改善成果）

(例) ・ 農業者等において借地等において堆肥、緑肥等の投入により生育環境の改善が見られた取組み事例、 ・ 堆肥製造関係者にあつては堆肥の品質が向上した取組み事例

（取りまとめの方法）

- ◆上記①～④の成果については、極力写真、データ、受益者の感想等客観的な裏付けとなるものを申請書に盛り込みます。関係するデータ、写真入り等で A4 版 1～2 枚程度にまとめます。
- ◆レポートの構成は、①テーマ、②取り組んだ背景、③取組み内容、④主な成果、⑤今後の課題を基本とします。

※各種申請様式は web サイト「[土壤医ネットワーク](#)」の[単位申請コーナー](#)からダウンロードしてください。